F1 ゼミ V-3 クラス　　担当:真島豊

ディベートテーマ「炭素税は必要か、不必要か？ 」

全体の概況

炭素税とは：地球温暖化防止のための有力な手法のひとつとして議論されている税金。
電気・ガスやガソリンなどのエネルギーに課税することで二酸化炭素の排出量に応じて事業者や個人が負担する税金

炭素税導入国：フィンランド、ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、オランダ、ドイツ、イタリア、イギリス（導入順）

京都議定書：温室効果ガス 6 種の合計排出量を 2008 年から 2012 年までの期間中に、合計排出量を 1990 年に比べて少なくとも 5%削減することを定めた（1997 年）。

日本：京都議定書目標達成計画「真摯に総合的な検討を進めていくべき課題」（2005 年４月閣議決定）

既存エネルギー税：

ガソリン：揮発油税（48.5 円/L）＋地方道路税（5.2 円/L） 3.23 兆円

軽油：軽油引取税（32.1 円/L）1.06 兆円

議論のポイント：

・京都議定書目標達成
・省エネ型・低燃費型の製品や車の購買促進
・税収の使途（地球温暖化対策）
・経済への影響（景気回復の足かせや企業の国際競争力低下）
・炭素リーケージ：企業が環境税を導入していない国に移転すること
・軽減措置の充実
・家計・企業における負担
・節約を促す
・炭素税が地球温暖化対策全体の中で果たす役割や効果の信憑性

感想：

今回でディベートも３回目となり、一巡しました。
肯定側、否定側共大変よく調査しており、よいディベートでした。
プレゼンをする際は、どちらの側（肯定側、否定側）であるかということを強調し、聞き手に印象づけを行うように意識すると、さらに良いと思います。

第２回ディベートテーマ

平成 21 年 06 月 29 日(月)

「ストレージは、

ハードディスクとＳＳＤ（ソリッドステートドライブ）の

どちらが良いか？」

肯定側：ハードディスク　　否定側：ＳＳＤ

平成 21 年 07 月 06 日(月)

「２０１２年にあなたが乗るなら

ハイブリッド自動車と電気自動車のどちらが良いか？」

肯定側：ハイブリッド自動車　　否定側：電気自動車

平成 21 年 07 月 13 日(月)

「理工系大学生は、大学院に進学すべきか、就職すべきか？」

肯定側：大学院に進学すべき　　否定側：就職すべき